

デルタ翼小型無人機「オオワシ」の完全自動飛行を達成

2026.3.24 航空宇宙機システム研究センター

航空宇宙機システム研究センターでは超音速飛行を念頭に置いて設計されたデルタ翼機「オオワシ」のフライトテスト及び設計改良を続けてきましたが、このたび初の完全自動飛行を達成しました。機体は85mの滑走を経て時速120kmで離陸、その後2周半のオーバル旋回飛行～3周のスパイラル降下を経て極めてスムーズなランディングを達成しました。

今後、さらなる高速化、航続距離の増加、目視外飛行の実現などを経て、水難事故等の災害時に迅速に出動可能な高速ドローンの実現、社会実装へとつなげてゆく所存です。



離陸の瞬間



飛行中の機上カメラ映像（白老実験場上空）



スムーズなランディング



関係者集合写真